

平成21年度文化庁予算（案）の概要

～「文化芸術立国」の実現と文化発信～

● 総 表

(単位：百万円)

区 分	前年度予算額 (当 初)	平成21年度 予 定 額	対 前 年 度	
			増 減 額	伸 率
文 化 庁	101,755	102,012	257	0.3%

※国立国語研究所移管分を含む。

● 主 な 内 容

(単位：百万円)

主 要 事 項	前年度予算額	平成21年度 予 定 額	比較増△減額
文化芸術創造プランの推進	15,078	15,425	347
○ 最高水準の舞台芸術公演・伝統芸能等への重点支援等	7,046	7,156	110
○ 新進芸術家やアートマネジメント人材等の育成	2,176	2,073	△ 103
○ 感性豊かな文化の担い手育成プランの推進 ーこどもの文化芸術体験活動の推進ー	5,856	6,196	340
文化財の次世代への継承	37,498	38,232	734
○ 保存修理・防災施設等の推進	8,970	9,501	531
○ 保存整備・活用等の推進	28,528	28,731	203
日本文化の戦略的発信	43,268	42,783	△ 485
○ 日本文化の海外への戦略的発信	2,978	3,134	156
○ 文化財の国際協力の推進	313	323	10
○ 文化発信のための国内基盤の整備	39,977	39,326	△ 651

(注) 計数はそれぞれ四捨五入しているため、合致しないことがある。

アートマネジメント重点支援事業

平成21年度予定額101百万円

1. アートマネジメント重点支援事業

82百万円(新規)

専門的なアートマネジメント人材の育成及び活用に取り組む文化施設に対し重点支援を行い、我が国におけるアートマネジメントの推進を図る。

○ アートマネジメント専門の職員を配置し、特色ある芸術性の高い創造活動等を行うとともに、他の文化施設等から中堅の現職アートマネジメント担当職員等を受入れ資質向上のための指導助言を行う。このようなアートマネジメント専門人材を活用した質の高い文化芸術活動を展開する劇場・音楽堂等に対して、専門職員の配置及び中堅職員等の指導助言にかかる必要な経費を支援する。

○ 積算内容

- ・アートマネジメント専門の職員の配置にかかる経費
- ・アートマネジメント専門講座の実施経費
- ・実施施設:5施設

○ プログラム内容(例)

自館の専門人材を活用し、他館から受け入れた中堅職員を指導するとともに、自主制作公演等を実施。

- ・オペラ、バレエ等の自主制作
- ・多彩で豊富なメニューの実現
- ・マーケティングに基づく新たな観客層の発掘
- ・企業等からの資金調達
- ・コンシェルジュによる顧客満足度の向上

2. アートマネジメント人材の育成に関する調査研究

6百万円(新規)

舞台技術者の継続的な育成を図るため、舞台芸術者に求められる知識・技能などを体系的・総合的にまとめた教材編纂及び舞台芸術者の認定制度について調査研究を実施

3. アートマネジメント研修

13百万円